

らららららーにゅーす

さいたま市立東宮下小学校図書館

運動会も終わり、秋本番！

秋といえば、スポーツの秋・読書の秋・食欲の秋？願わくば読書の秋であってほしいけれど・・・

本の城・本のワンダーランドでは、10月23日より始まる読書月間にさきがけてイベントを開催しています。10・11月はおかわり券をたくさんゲットできるチャンスがいっぱい！

ぜひ、本の城・本のワンダーランドにきて、本をかりてね。



読書月間 10月23日～11月22日

今年の読書月間もイベントまんさいです。

イベントに参加すれば、おかわり券やしおりなどいろいろもらえます。

ぜひ、イベントに参加してね。

イベントのくわしい内容は、本の城のろう下にはりだされるポスターを見てね。



めぐろ 目黒のサンマ



みなさんは、この秋もうサンマを食べましたか？ もちろん、一年中食べられる魚ですが、秋には脂がのって特においしいとされています。



魚なので、当然海のいきものですが・・・

その昔「サンマは目黒にかぎる」といった殿様がいました。松平出羽守という殿様が目黒(東京)に鷹狩りに行きました。おなががすいたところに、どこからか魚を焼くにおいがしてきました。農家のおじさんが七輪で焼いたサンマを食べたところ、こんなにおいしい魚があったのかと感動したとか・・・

江戸城に行き、ほかの人にその話をすると、話を聞いた黒田筑前守は城へもどりさっそく千葉の漁師からサンマを買って食べてみました。ところが、家来が体に悪いからと塩と脂を落として焼いたのでちっともおいしくなかったそうです。

サンマなんておいしくないと筑前守は出羽守にいました。「どこのサンマを食べたのですか？」「千葉のサンマです。」「千葉のサンマだからまずかったのだ、サンマは目黒にかぎる。」サンマの産地の千葉より海のない目黒の方がおいしいという落語のお話です。みなさんもおいしいサンマをめしあがれ。



「めぐろのさんま」川端 誠作 クレヨンハウスより



あたらしいほんはい 新しい本入りました。

ていがくねんむけ

「ずっと」

ケイト・クライス さく
ふたりがはじめてあったとき、エリはうまれたばかりだった。ふたりはいつもいっしょにいた。でも、イヌのバロンはエリよりはやくとしをとる。バロンのねがいはひとつだけ、ずっとエリのそばにすること。



「うんどうかいがなんだ」

きむら ゆういち さく
ブタンはかけっこがにがてだから、うんどうかいがきらい。やすんじゃおうかとおもったけど、ポンスケにブタンがやすんだらポンスケがビリになるからといわれて、ムかついた。ぜったいポンスケにかけてやる！はたしてけっかは？



「ハロウィーンってなあに？」

クリステル・デモワノー さく
みんな、おおきなかぼちゃをかかえておおさわぎ、へんなの。ハロウィーンのせいなんだって。ねえ、ハロウィーンってなあに？



ちゅうがくねん 中学年むけ

「願いのかなうまがり角」

ねが 岡田 淳作
ぼくのおじいちゃんはずごい！かみなりのむすめとけっこんして、世界中からチョコレートもらって・・・そんなおじいちゃんがぼくだけにおしえてくれた、ひみつのはなし。



「ポケモンをつくった男 田尻智」

宮本 茂 作
ポケットモンスターをつくったゲームクリエイター・田尻智。彼の生い立ちから、ポケモン誕生の秘密まで。



「妖怪捕り物帳 8」

大崎 佛造 作
コン七は、神獣青龍にのって八妖島にやってきた。ここには最後の神獣・朱雀がねむっているのだ！はたして朱雀をよみがえらせることはできるのか！



こうがくねん 高学年むけ

「奇譚ルーム」

はやみね かおる 作
奇譚ルームに招かれたのは、10人。一人ずつおもしろい話をしなければならぬ。もし、話がおもしろくなければ順番に殺されてしまう。



「子どもに語るアラビアンナイト」

西尾 哲夫 文
アリババ、シンドバッド、空飛ぶ木馬、巨大な魔人・・・ペルシアのお姫が命がけで王さまに語った、千と一夜の物語。



「ラストで君は「まさか！」と言う」

PHP研究所 編
3分でサクサク読めるどんでん返しのショートストーリー！ラストには「まさか！」な展開が・・・
ホラー、ユーモア、SF、ラブコメなど多ジャンルのお話が30話。



たの楽しいお話をたくさんそろえて、みなさんの来館をお待ちしています。

